



門脇 輝明 議員

大山観光局への 出資金の処理は

町長

定款の変更を依頼した

〔門脇〕

決算の財産に関する調査で、大山観光局に対して覚書にもとづく出資金が1100万円計上されている。

大山観光局の決算の貸借対照表に、資本の部ではなく負債の部に長期借入金として計上されている理由は。

〔町長〕

出資金の1100万円は、平成25年度に大山観光局が第二種旅行業の営業を開始する際、保証金を供託する必要があり、相当額を出資した。

一般社団法人が出資を受ける際は、資本の部に基金として処理されるべきだが、大山観光局の定款には基金に関する規定がない。このため、負債の部に長期借入金として処理されてきた。

町は定款の変更を依頼しており、修正の方向で検討されている。

次期総合戦略の 概要は

町長

現計画のバージョンアップ版だ

〔門脇〕第2期大山町しごと・ひと・くらし創生総合戦略の概要は。

〔町長〕第1期総合戦略のバージョンアップ版だ。

〔門脇〕戦略の大目標が人口減少対策であれば、個々のKPI[※]を達成しても人口対策に影響

響がなければ意味がない。例えば、グルメ食道推進事業は、どのKPIにどの程度有効だったか数字はあるか。

〔町長〕評価は総合的に判断した委員の合意であり、何%という数字での検証はない。
※KPI…重要業績指標



地方創生の第1期総合戦略

町独自の結婚対策は

町長

二重行政は避け県事業を活用

〔門脇〕町内に就職した場合の奨学金返還助成制度の概要は。

〔町長〕返還金を事業者・町・本人の三者が負担する案を検討中だ。早めに対応したい。

〔門脇〕議員と語る会で、結婚アドバイザーによるマナーや交際術のトレーニングなどの取り組みができないか町が本気で考えてほしいとの要望があった。

町独自のプログラムの実施は。

〔町長〕趣旨はよくわかるが、二重行政は避けたいので、県の事業の活用に努めたい。



成人式、結婚の夢や希望も